

プロポーザル実施要領

1. 目的

本要領は、日本赤十字九州国際看護大学（以下、「本学」という。）が、ホームページリニューアルに際し、業務委託の事業者を選定するために実施するプロポーザルに関して必要な事項を定めるものとする。

2. 業務の概要

(1) 業務名

日本赤十字九州国際看護大学ホームページリニューアル業務

(2) ウェブサイトの企画・制作及び運用・保守業務（別添仕様書参照）

3. 契約期間

(1) ウェブサイトの企画・制作

契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日まで

(2) ウェブサイトの運用・保守業務

令和 9 年 4 月 1 日から令和 14 年 3 月 31 日まで

4. 業務委託費用の上限

7,040,000 円（消費税及び地方消費税含む）

ただし、この金額は、提案内容の規模を示すものであり、契約時の予定価格を示すものではないことに留意すること。また、本費用は上記 3（1）のウェブサイトリニューアル業務委託の提案上限額として示すものであること。

5. 参加資格

(1) 参加することができない者

ア 当該契約を締結する能力を有しない者

イ 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者

ウ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 32 条第 1 項各号に掲げる者

エ 次の各号の一に該当する事実があった後 2 年を経過しない者

（ア）契約の履行に当たり、故意に工事、製造その他の役務を粗雑に行い、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者

（イ）公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し、若しくは不正の利益を得るために連合した者

（ウ）落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者

（エ）監督又は検査の実施に当たり、職員の職務の執行を妨げた者

（オ）正当な理由がなくて、契約を履行しなかった者

（カ）共創に参加する者に必要な資格の審査に当たり、虚偽の申請をした者

（キ）前各号の規定により一般競争に参加できないこととされている者を契約の締結又は契約の履行に当たり、代理人、支配人その他の使用人として使用した者

(2) 日本赤十字九州国際看護大学、日本赤十字社（本社）、その他日本赤十字社が運営する施設の競争入札参加資格者の資格等級において、「役務の提供」の「301

広告・宣伝」において「C」等級以上の認定を受けていること。

- (3) 福岡県内に本社又は支店（営業所等）を有する者であること。
- (4) 広告の日から提案時までの期間に、「日本赤十字社指名停止等の措置基準」に基づき、日本赤十字社から、又は福岡県内で行われた不正行為等に基づき、福岡県若しくは国からの指名停止等の措置を受けていないこと。なお、福岡県及び国において同一の不正行為等によって指名停止期間が異なる場合は、そのうち早期に指名停止が終了する期間を対象とした上で、上記広告の日から提案時までの期間に指名停止の措置を受けていないこと。
- (5) 警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配している事業者又はこれに準ずるものとして、物品の販売等の調達契約からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

6. 受託者の選定方法

受託者の選定は、プロポーザルによる行う。参加者は、参加申し込みを行い、提案を行うこととし、提案内容等について審査の上、最も優れた事業者を委託契約候補者とする。なお、プロポーザル参加に係る費用は、全て参加者の負担とする。

7. 手続きについて

(1) 担当部局

〒811-4157 福岡県宗像市アスティ 1-1
日本赤十字九州国際看護大学 財務課
TEL 0940-35-7006 FAX 0940-35-7021
E-mail keiri@jrckicn.ac.jp

(2) 関係書類の入手方法

本プロポーザルに係る実施要領等の関係書類は、本学ホームページの「入札情報」からダウンロードすること。

(3) 本プロポーザルに係る説明会

実施しない

8. プロポーザル参加表明書の提出及び競争入札参加資格の確認等

- (1) 本プロポーザルの参加希望者は、次に従い、プロポーザル参加表明書（様式①）を提出するとともに、上記 5（2）に掲げる競争入札参加資格を有することを証明するため、競争入札参加資格の認定通知の写しを提出しなければならない。なお、提出期限までにプロポーザル参加表明書及び競争入札参加資格の認定通知の写しを提出しない者は、本プロポーザルに参加することができない。

ア 提出期限：令和 8 年 2 月 20 日（金）17 時 00 分

イ 提出場所：上記 7（1）に同じ。

ウ 提出方法：持参又は郵送（書留郵便に限る）により提出すること。

- (2) 本プロポーザルの参加希望者で、上記 5（2）に掲げる競争入札参加資格の認定を受けていない者は、次に従い、一般競争入札参加資格審査申請書（以下「申請書」という）を提出し、競争入札参加資格の審査を受けることができる。申請書については本学ホームページの「入札情報」を参照のこと。

ア 提出期限：令和 8 年 2 月 19 日（木）17 時 00 分

イ 提出場所：上記 7（1）に同じ。

ウ 提出方法：申請書の提出は、提出場所へ持参又は郵送（書留郵便に限る）により提出すること。

- エ 提出部数：1 部
オ 競争入札参加資格の確認
申請書の提出期限の日をもって行うものとし、その結果は令和 8 年 2 月 20 日（金）までに通知する。

9. 質疑回答について

- (1) 実施要領、仕様書等に関して質問がある場合は、次に従い質問書（様式②）を提出すること。なお、質問がない場合でも「質問なし」と記載して提出すること。
ア 提出期限：令和 8 年 2 月 24（火）17 時 00 分
イ 提出場所：上記 7（1）に同じ。
ウ 提出方法
・メールによる。
・エクセル形式に質問事項（質問番号・質問箇所・質問事項を列にとり、改行は不要、様式は問わない）を記載すること。
(2) 質問に対しては、下記により回答する。
ア 回答期日：令和 8 年 2 月 25 日（水）17 時 00 分迄に回答する。
イ 回答方法：プロポーザル参加者全員に、電子メール（PDF 形式）にて回答する。

10. 企画提案書の提出

- (1) 提出書類
ア プロポーザル企画提案書（様式③）を表紙とし、以下の書類を添付すること。
また、企画書には通しページを付記すること。
・企画提案書 ※様式は任意とする
・会社概要
・同種業務実績報告書（様式④）
・提案内容の見積書（消費税込）
イ 提出期限：令和 8 年 2 月 27 日（金）17 時 00 分
ウ 提出部数：正 1 部、副（複写可）10 部の計 11 部とし、提出後の資料追加、修正は認めない。
エ 提出場所：上記 7（1）に同じ。
オ 提出方法：持参又は郵送（書留郵便に限る）とする。

11. 審査

受託者の選定は、本学の広報室において実施する。提出書類及び最終審査（プレゼンテーション）の内容を基に評価し、最も評価が高い者を選定する。なお、応募件数が多い場合は、書類審査により上位 4 社を選出し最終審査（プレゼンテーション）を実施する。

- (1) 審査方法
提出書類及びプレゼンテーションにより審査
(2) 審査基準
別紙「日本赤十字九州国際看護大学ホームページリニューアル業務プロポーザル審査基準表」のとおり。
(3) 最終審査（プレゼンテーション）の日時・会場等
ア 日時：令和 8 年 3 月 12 日（木）
※時間、は一次審査を通過した者に別途通知すること。
イ 場所：日本赤十字九州国際看護大学 ゲート棟 3 階 会議室 302

ウ 最終審査（プレゼンテーション）の制限時間：1 参加者あたり 30 分
（質疑応答含む）

エ 誓約書：私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号）に抵触する行為等（談合等）の違法行為の無い旨の誓約書（様式⑤）及び暴力団排除に関する誓約事項（別紙⑥）を入札受付時に提出すること。

オ その他：プレゼンテーション会場への入場は、1 参加者につき 2 名以内とする。

（4）審査結果通知

審査結果は、令和 8 年 3 月 16 日（月）、本学ホームページで公表する。なお、審査経過は公表しない。

1 2. 委託契約候補者との委託契約について

（1）契約手続

日本赤十字九州国際看護大学は、委託契約候補者から見積もりを徴し、予定価格の範囲内であることを確認した後、契約を締結するものとする。

（2）契約内容の調整

委託契約候補者の企画提案書等の記載内容が、原則として契約締結時の業務内容となるが、委託契約候補者との協議により、内容を修正・変更する場合がある。

日本赤十字九州国際看護大学ホームページリニューアル業務 プロポーザル審査基準

| 項目 | | 審査内容 | 配点 (100) | 評価点 |
|------------|-----------------|---------------------------------|-------------|-----|
| 1. 全体構成 | デザイン | 好感を得るデザインとなっているか | 10 | |
| | 見やすさ | 見たいものが直ぐに探せるか | 10 | |
| | 操作性 | ホームページの閲覧がし易い作りになっているか | 10 | |
| | ページの構成 | 閲覧者側の視点で見やすく、分かりやすいページ構成になっているか | 10 | |
| 2. 運用管理 | CMS の入力 | CMS の機能性、管理方法は適切か | 10 | |
| 3. セキュリティ | セキュリティ対策 | 不正アクセスに対するセキュリティ対策は万全か | 10 | |
| 4. 運用支援 | 保守業務 運用支援 | ホームページの運用支援の体制 | 10 | |
| 5. コンテンツ制作 | コンテンツ制作の 提案 | 本学のニーズにマッチしてコンテンツ制作の提案となっているか | 10 | |
| 6. 費用 | 価格の適正 | 適正な価格か | 10 | |
| 7. 信頼性 | ホームページ制作・運用等の実績 | ホームページ制作・運用等に十分な実績があり、信頼性できるか | 10 | |

| |
|-----|
| 合計点 |
| |